

若い夫婦が力を合わせて省エネ!

北海道浦河町 松本啓佑さん

特徴

- 若い夫婦が協力して、家庭内の暖房、給湯、家電に関わる省エネ活動を実践。
- 「湯たんぼ」の活用、「テレビよりラジオ」など、考えられる限りの省エネ活動を2人で楽しく行っている。
- 奥様のイラストによる報告書が楽しい。

毎朝のチェック表記入で、省エネ効果を毎日実感。

松本さんご夫婦は、以前から環境問題に興味があり、今回のコンテスト応募となりました。活動をはじめるとあたって、夫婦でこれまでの各エネルギーの使用量や暖房・家電等の使用方法



松本さんご夫婦

を話し合った結果、さまざまなアイデアが生まれてきました。

また、実践した効果を確認するため、活動期間中は毎朝8時前に各メーターの数値をチェック表に記入。一日の使用量をその日の過ごし方などと一緒に記録しました。この取り組みにより、実際に毎日どれくらいのエネルギーを使用したか、お風呂や洗濯など一度に大量のエネルギーや水を使う家事、家電製品などの利用時間や使い方によって、どう使用量が変わるかを把握でき、省エネ効果を毎日、実感できたそうです。

・暖房

同じ部屋に2人で過ごし、一度に複数の暖房を使用しない。就寝や外出する30分前には暖房を消し、就寝時は湯たんぼを使用する。



毎晩、湯たんぼを使用

・調理

夕食などは、夫の帰宅時間を見計らって調理し、できたものは布カバーで保温する。



タワー式すすぎで時間と水の省エネ

・タワー式すすぎ

まず、平らなものから洗い、次にお椀などを重ねる（大きなサイズから小さなサイズへ）。上の食器をすすぐと下の食器へ水がかかる。その水でほと

んど洗剤が取れているので、すすぎが少なくてすむそうです。

・手動発電式ラジオ

朝夕のニュースはラジオで十分と考え、手動発電式ラジオを利用。「このラジオなら経済的だし、テレビと違って、聴きながらいろいろなことができてよい」と奥様。

省エネ経験を通して、1日の有効な時間の使い方を学ぶ。

奥様はデザイナー&イラストレーターで、地元の観光マップなどを作成しています。今回の報告書も、生活のいろいろな場面での工夫をイラストで表現した楽しい報告書となっています。

このコンテストに参加したことで、お二人の省エネ意識が大きく高まったそうです。日々の小さな工夫が大きな成果につながると実感でき、早寝早起きはもちろん、職場での照明や電気機器などのこまめな電源オフなどの習慣が身につきました。また、エネルギーだけでなく、時間の有効な使い方など、生活のさまざまな場面における過ごし方に気がまわるようになったそうです。



楽しいイラストで構成された報告書

[エネルギー削減率] 19.6%

■プロフィール

住所：北海道浦河町
 家族構成：大人2人(夫婦)
 住宅様式：集合住宅
 省エネ活動について：以前から実践